

教育研究業績の書き方 (研究者教員の場合)

(全般)

1. 用紙はA4版を使用すること。
2. 和文は明朝体、欧文はTimes New Roman体を、フォントの大きさは10から12ポイントを使用すること。
3. I. 研究業績、II. 教育業績に分け、それぞれ以下の指示に従って記載すること。

I. 研究業績

1. 1行目中央に「研究業績」と記載すること。
2. 次の行から、論文、著書、翻訳書、辞書(辞典・事典)、芸術活動(演奏・作品等)／体育活動(運動歴・指導歴等)、その他の研究報告等、学会発表論文集(抄録集)掲載論文、その他(特許等)、学会における活動及び社会的活動の順に、該当する事項について、それぞれ年代順に記載すること。
ただし、分野によっては、この限りではない。例えば、著書、論文という順番の場合もある
3. 査読付き論文には、番号を○印で囲むこと。

論文(学術論文)

(1) 修士論文・博士論文については、原則として記載しないが、将来に向かって当人の研究業績として重要な内容をもつものについては記載してもよい。
ただし、その内容が論文誌等に掲載されている場合は省くものとする。

(2) 原則として、以下の記載例のいずれかによって記載することが望ましい。
(ただし、各専門領域によっても相違するので、特に必要な場合はその限りではない。)

例1. 著者名(発行年), 題目. 発行雑誌名, 巻数, 通しページ(○-○).

例2. 著者名(発行年), 題目. 発行雑誌名, 巻数(号数), 号のページ(○-○).

(3) 同一発行年に複数の論文がある場合には発行順に配列すること。

(注) ① 発行年(西暦)は著者名の後に()付で記載する。

② 各巻通しページ付き雑誌論文の場合は巻数のみをゴシック体で書き通しページを記載する。

③ 各号ごとのページ付き雑誌論文(通しページがない)の場合に限り、巻数の直後に号数を()内に入れて記し、号のページを記載する。

④ 年に1回だけ刊行されるもの(紀要・年報など)で、各年次ごとに巻、号、集などと番号付けしてあるものは、③の記載例に準ずる。

⑤ 欧文の場合には、掲載雑誌名はイタリック体を用いて記載する。

著書

(1) 単著及び共著の場合

例1. (共) 著者名(発行年), 書名. 発行所, 発行地(外国のみ).

(2) 分担執筆の場合

例2. 分担執筆者名(発行年), 分担題目. 編・監修者名(編/監) 書名, 発行所, 発行地(外国のみ), 分担執筆ページ(○-○).

例3. 編著者名(発行年), 書名, 発行所, 発行地(外国のみ).

3-1 分担執筆者名, 分担題目. 分担執筆ページ(○-○).

3-2 分担執筆者名， 分担題目， 分担執筆ページ（○-○）。

(注) ① 同一著者中に複数章の分担執筆がある場合には、掲載編著書を先に記載した後、行を改めて分担執筆部分について記載する。

翻訳書

著書に準じて記載し、その後に原著についても同様な形式によって記載する。

例1. 原著者名／翻訳者名(訳)(発行年)， 訳書名， 発行所， 発行地（外国のみ）。
原著者名（発行年）， 原著書名， 発行所， 発行地（外国のみ）。

例2. 分担翻訳者名（発行年）， 分担翻訳章等の題目。原著者名／監訳者名（監訳）訳書名， 発行所， 発行地（外国のみ）， 分担翻訳ページ（○-○）。
原著者名（発行年）， 原著書名， 発行所， 発行地（外国のみ）。

例3. 原著者名／監訳者名(監訳)(発行年)， 訳書名， 発行所， 発行地（外国のみ）

3-1. 分担翻訳者名， 分担翻訳章等の題目。分担翻訳ページ（○-○）。

3-2. 分担翻訳者名， 分担翻訳章等の題目。分担翻訳ページ（○-○）。
原著者名（発行年）， 原著書名， 発行所， 発行地（外国のみ）。

(注) ① 同一翻訳書において複数章の翻訳を分担している場合には、掲載翻訳書を先に記載した後、行を改めて分担翻訳部分について記載する。

② 原著者名は原則としてイタリック体を用いて記載する。

辞書（辞典， 事典）

例1. 編・監修者名（監／編）（発行年）， 辞書名， 発行所， 発行地（外国のみ）
分担執筆者， 用語， 分担執筆ページ（○-○）。：用語， 分担執筆ページ（○-○）。：用語， 分担執筆ページ（○-○）。：用語。分担執筆ページ（○-○）。：用語， 分担執筆ページ（○-○）。

芸術活動（演奏・指揮・作品等）／体育活動（運動歴， 指導歴等）

音楽、美術及び保健体育等において該当する業績を有する場合は、各領域の特殊性を考慮して記載する。（別添の記載例を参考にする。）

その他の研究報告等（学術論文に準ずる論文， 研究報告書等）

論文の記載様式に準じて記載する。

学会発表論文集掲載論文（ないし学会発表論文抄録等）

学会発表論文集・抄録集（各専門領域において使用されている名称による）に掲載された論文抄録（研究報告， 講演， 講義， シンポジウム等を含む）を記載する。その際、「論文」に準じた様式によって記載する。

その他の業績（特許等）

特許取得者名（特許取得年）， 特許題目， 登録番号（特許第 号）。

(注) ① 特許等、その他の業績がある場合には適当な見出しを付けて記載する。

学会における活動

加入学会名、加入年月（西暦）、学会における委員会活動等について記載する。

社会的活動（国， 県等における学会以外の活動）

社会的活動の名称、役割、活動期間（年月）を記載する。

その他の活動

特記すべき事項がある場合には、適当な見出しを付けて記載する。

II. 教育業績

1. 1行目中央に「教育業績」と記載すること。
2. 「事項」の項には、各区分に該当する教育上の実績に関する事項を記入すること。
3. 「概要」の項には、当該事項に係る内容の概要のほか、当該活動の成果を記入すること。

「教育方法の実践例」の例

- 例1. 研究発表会・大会等で報告された実践例，授業内容のインターネット上での公開等
- 例2. 教育委員会，教育センター等が実施する教員研修における指導経験

「作成した教科書，教材」の例

- 例. 授業や研修等で使用する著書，教材等

「実務の経験を有する者についての特記事項」の例

- 例1. 大学が主催する公開講座の担当，シンポジウムにおける講演等
- 例2. 大学との共同研究
- 例3. 教育に関わる受賞，表彰等
- 例4. 教育委員会，教育センター等の委員，研究員等
- 例5. 教育に関わるその他の団体の委員等